

平成 30 年 8 月 31 日

株式会社 ミライト・ホールディングス

【株式会社ミライト】**三井物産と共同で、低炭素社会の実現に向けた分散型電源による
電力系統安定化の実証実験を、9 月上旬より本格運用を開始****～ミライト市川研修センターを活用し、三井物産が「仮想発電所」の実現のために
展開する技術検証に参画～**

株式会社ミライト・ホールディングスのグループ会社である株式会社ミライト(本社:東京都江東区、代表取締役社長:中山 俊樹、以下、ミライト)は、三井物産株式会社(本社:千代田区丸の内、代表取締役社長 安永 竜夫、以下、三井物産)が展開している、低炭素社会の実現に向けた分散型電源による電力系統安定化の実証実験に参画し、9 月上旬より、ミライト市川研修センターで実験を開始します。

温室効果ガス削減対策として、再生可能エネルギー(以下、再エネ)が普及してきましたが、再エネ出力の大きな変動や余剰電力の大量発生といった、電力系統の安定運用に影響をおよぼす課題が顕在化しつつあります。そのため、電力系統の安定化と継続的な再エネ導入を両立する社会的な仕組みが必要となってきました。こうした課題に対応すべく、蓄電池や人工知能技術を活用して、電力使用を効率化する動きが出てきています。

このような状況下において、三井物産は、2017 年 12 月より、電力系統安定化を目的に、同社が出資する米国のベンチャー企業であるステム社(本社:米国カリフォルニア州、CEO: John Carrington)の「電力需要予測分析技術を用いた人工知能駆動蓄電システム」と、テスラの蓄電池(Powerpack)を活用し、「仮想発電所」の実証実験を行ってきました。今回の実証実験においてミライトは、「仮想発電所」の早期実現に貢献すべく、長年培ってきた蓄電池設置のノウハウと、従来の通信インフラ建設技術をもって、実験の場として市川研修センターを提供し、本実験に参画します。

今回の実証実験は、9 月上旬から本格運用を開始し、ピークカットやエネルギーマネジメントの実効性と、電力事業者のニーズに応じた調整電力の供給が可能であるかを検証します。この実証実験を通じ、蓄電システムなどの分散型電源を活用した、効率的な電源構成の構築に寄与し、低炭素社会実現に貢献していきます。



ミライト市川研修センターへの設置状況

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社ミライト
次世代モバイルビジネス創造本部
EV 充電システムビジネス推進部
TEL: 03-6807-3158
URL: <http://www.mrt.mirait.co.jp/>

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社ミライト・ホールディングス
広報室
TEL: 03-6807-3120
FAX: 03-5546-2962
URL: <http://www.mirait.co.jp/>